

# 物 理 問 題 紙

工学部（電子情報工学科）

2023 年 2 月 10 日

11：50～12：50（60分）

## 注 意 事 項

— 注意事項は裏表紙にもある。問題紙を裏返して必ず読むこと。 —

1. 物理の問題紙は全 8 ページである。
2. 解答用紙は問題紙の中に折り込まれている。その他に計算用紙が 1 枚入っている。
3. 解答はすべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
4. 試験開始の合図があるまで問題紙を開いてはいけない。  
試験終了まで退室してはいけない。
5. 受験番号の記入については裏表紙を参照すること。

# 物

1

両岸が平行で幅が  $L$  の川があり、図 1-a のように  $xy$  座標をとる。川は一定の速さ  $V_0$  で  $x$  軸の正方向に流れている。この川の対岸に向かって、静水に対する速度が  $\vec{u}$  の小さな船が原点 O を出発する。川の流れの速度と  $\vec{u}$  との合成速度を  $\vec{U}$  とする。また、QR 間には  $y$  軸に平行な橋がかかっており、この船の出発と同時に A さんは点 Q を出発して一定の速さで橋を渡る。以下の I ~ III では、船と A さんがそれぞれ異なる速度を持つ 3 つの場合を考える。文中の空欄を適切な数式または数値で埋めよ。

I.  $\vec{u} = (0, \sqrt{3}V_0)$  のとき、 $|\vec{U}| = \boxed{(1)}$  であり、 $\vec{U}$  が  $y$  軸となす角度は  $\boxed{(2)}$  である。船が原点 O を出発してから対岸に到着するまでにかかる時間は  $\boxed{(3)}$  であり、到着した地点の  $x$  座標は  $\boxed{(4)}$  である。船が対岸に到着するのと同時に A さんが点 R に到着した場合、A さんの速さは  $\boxed{(5)}$  である。

II. 次に、図 1-b のように一定の  $u (> 0)$  と一定の  $\theta (0 < \theta < \frac{\pi}{2})$  を用いて、 $\vec{u} = (-u \sin \theta, u \cos \theta)$  と表される場合を考える（ただし  $V_0 < u$  とする）。このとき、 $\vec{U}$  の  $x$  成分を  $u$ 、 $V_0$ 、 $\theta$  を用いて表すと  $\boxed{(6)}$  となるため、船が  $y$  軸上の点 P に到着するときの  $\sin \theta$  は、 $u$  と  $V_0$  を用いて  $\boxed{(7)}$  と表される。また、点 Q を出発した A さんの速さが  $\frac{u}{2}$  で、船が点 P に到着するのと同時に A さんが点 R に到着した場合、 $\theta = \boxed{(8)}$  である。

III. 最後に、点 Q を出発した A さんの速さが  $\frac{3}{10}V_0$  で、A さんから見た船の相対速度の成分表示が  $(\frac{7}{8}V_0, 0)$  の場合、 $\vec{u}$  の  $x$  成分は  $\boxed{(9)}$  であり、 $y$  成分は  $\boxed{(10)}$  である。

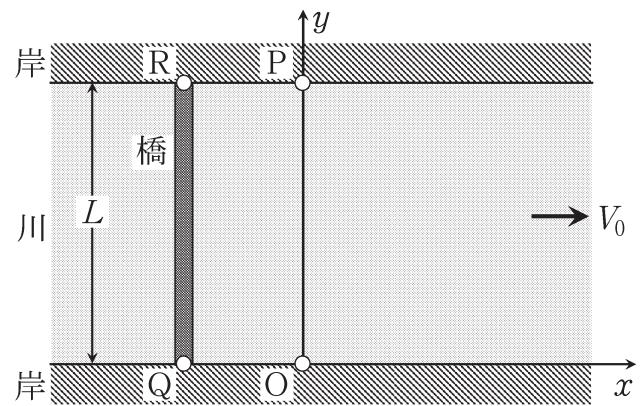


図 1 - a

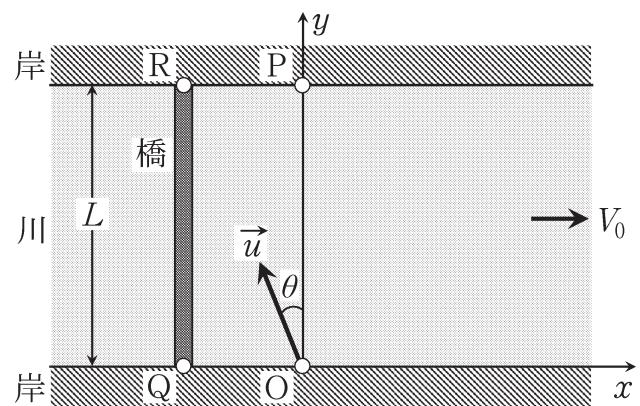


図 1 - b

# 物

2

図2は初期に帯電していない平行板コンデンサー1, 2, 3と電圧  $V$  の電池を直列接続した回路であり、接続後十分に時間が経過した状態にある。各コンデンサーの極板間隔は異なるが、極板の面積は全て同じである。各コンデンサーの極板間は、誘電率の異なる誘電体で隙間なく満たされている。各誘電体の誘電率と極板間隔は下記の通りである。

コンデンサー1：誘電体の誘電率  $3\epsilon$ , 極板間隔  $d$

コンデンサー2：誘電体の誘電率  $2\epsilon$ , 極板間隔  $2d$

コンデンサー3：誘電体の誘電率  $\epsilon$ , 極板間隔  $3d$

コンデンサー3の負極側の極板は接地されており、その電位は0である。極板の厚さを無視し、また極板は十分に広く、各コンデンサーの内部には一様な電場が生じるものとする。以下の問いに答えよ。

- (1) コンデンサー1に蓄えられた電気量はコンデンサー2に蓄えられた電気量の何倍か。
- (2) コンデンサー2内部の電場の大きさはコンデンサー1内部の電場の大きさの何倍か。
- (3) コンデンサー1内部の電場の大きさを求めよ。
- (4) コンデンサー3内部の電場の大きさを求めよ。
- (5) コンデンサー1の極板間の電圧を求めよ。
- (6) 点Aの電位を求めよ。
- (7) 点Bの電位を求めよ。
- (8) コンデンサー1と2の合成容量はコンデンサー1の電気容量の何倍か。
- (9) コンデンサー1と2と3の合成容量はコンデンサー3の電気容量の何倍か。

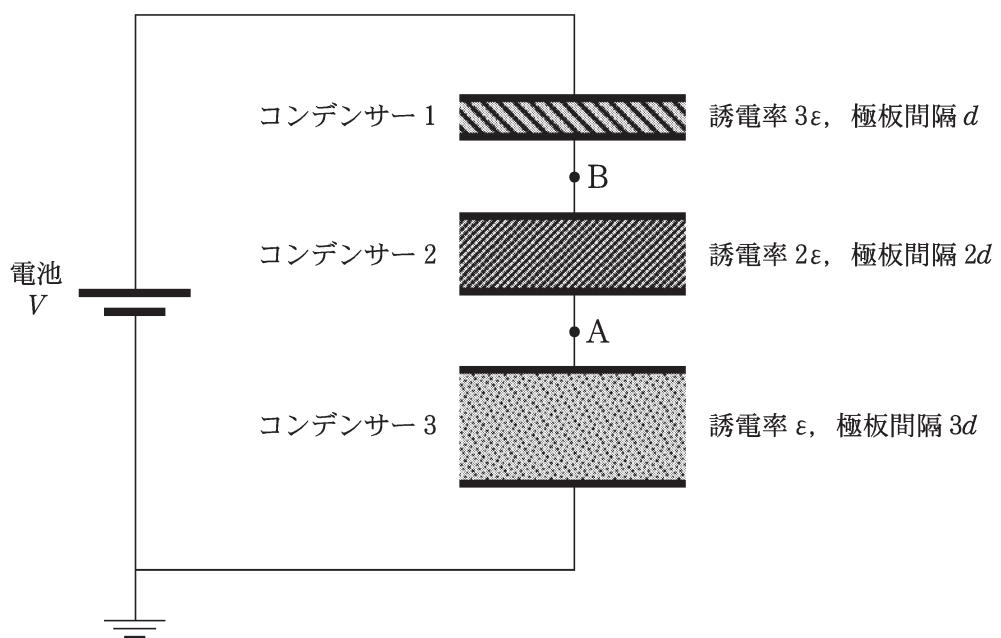


図 2

(このページは白紙です)

(このページは白紙です)

## 《注意》

採点・集計などのさいに受験番号の読み間違いが生じないように、受験番号はつぎの点に注意して記入すること。

1. 受験番号は2箇所に記入する。
2. HBの鉛筆・シャープペンシルを使って、1マス1字ずつはっきり書く。
3. ほかの数字とまぎらわしくないように書く。

良い例	/	3	4	5	6	7
悪い例	1(7)	3(8)	4(6) 4(9)	5(6)	6(4)	7(/) 7(9)

それぞれ（）内の数字と誤解されやすい。